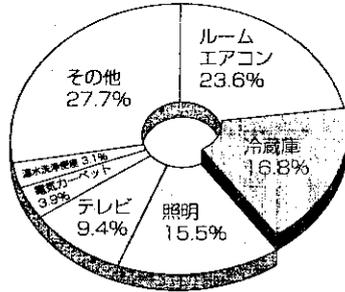
上手に節電するために

ご家庭でたくさん電気を使う冷蔵庫。こんなこともご注意を。

冷やしすぎ

ドアの開けすぎ

うっかり半ドア

熱い食品やお茶を冷まさず冷蔵

1年間に家庭で使う電力の内訳
(資源エネルギー庁平成11年推定実績)

愛情点検

●長年ご使用の冷蔵庫の点検を！

こんな現象はありませんか

- ●電源コード、プラグが異常に熱い。
- ●電源コードに深い傷や変形がある。
- ●焦げ臭いにおいがする。
- ●冷蔵庫床面にいつも水がたまっている。
- ●ビリビリと電気を感じる。
- ●その他の異常や故障がある。

▶ 故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います。
2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

形　名	
購入店名	
	電話　（　　）
購入年月日	年　月　日

株式会社 日立製作所
〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12 電話(03)3502-2111

日立冷凍冷蔵庫
取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

形 名
R-15NWT形(左開き)・R-15RNWT形(右開き)

もくじ

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みください。
取扱説明書は保証書と共に大切に保管してください。

安全上のご注意

●ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものですので、必ず守ってください。

⚠警告と⚠注意の意味は次の通りです。

⚠警告	取扱いを誤った場合、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	取扱いを誤った場合、傷害または家屋・家具などの物的損害に結び付く可能性があるもの。

●本文中の「図記号」の意味は次の通りです。

(!)	「必ずしてほしい行為」を表します。
(電源プラグ)	電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
(アース)	必ずアース線を接続してください。
(禁止)	「禁止」を表します。
(分解禁止)	分解しないでください。
(接触禁止)	触れないでください。
(ぬれ手禁止)	ぬれた手で触れないでください。
(水ぬれ禁止)	水をかけないでください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

● **定格15A以上のコンセントを単独で使用する**
他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して火災の原因になります。
単独で使用する

● **電源プラグの刃及び刃の取り付け面に ほこりが付着している場合は よくふき取る**
ほこりで電気がショートしやすくなり、火災の原因になります。
清潔にする

● **電源は交流100V専用コンセントを使用する**
100V以外では、感電・発火の原因になります。
100V専用コンセントを使用する。

● **長期間ご使用にならないときは 電源プラグをコンセントから抜く**
絶縁劣化による感電・漏電・発火の原因になります。
電源プラグを抜く

● **電源プラグは コードが下向きになるように差し込む**
逆に差し込むと、コードに無理がかかり、感電・ショート・発火の原因になります。
コードを下向きにする

● **電源プラグを抜くときは 電源コードを持たずに 先端の電源プラグを持って引き抜く**
コードを持って抜くと感電・ショート・発火の原因になります。
電源プラグを持つ

● **ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**
感電の原因になります。
ぬれ手禁止

● **お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く**
感電することがあります。
電源プラグを抜く

● **電源コードや電源プラグが傷んでいたり コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**
感電・ショート・発火の原因になります。
禁止

⚠警告

● **庫内灯を交換するときは 交換する前に電源プラグをコンセントから抜く**
感電することがあります。
電源プラグを抜く

● **引火しやすいものは入れない**
爆発する危険があります。
禁止

● **異常時(こげ臭いなど)は 電源プラグを抜き運転を中止する**
異常のまま運転を続けると、感電や火災の原因になります。
電源プラグを抜く

● **地震などによる冷蔵庫の転倒防止の処置をする**
振動により冷蔵庫が転倒し、けがの原因になります。
(詳しくは☞6ページ)
転倒防止をする

● **電源プラグを冷蔵庫の背面で押し付けない**
電源プラグが傷付き、過熱・火災の原因になります。
禁止

● **上に水を入れた容器を置かない**
こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。
水ぬれ禁止

● **電源コードを冷蔵庫の脚や家具などで踏まない**
感電・火災の原因になります。
禁止

● **テーブルには 不安定なものを置いたり ひさし部分に重量をかけない**
ドアの開閉で落下し、けがをすることがあります。
禁止

● **電源コードを傷付けたり 加工したり 無理に曲げたり 引張ったり ねじったり たばねたりしない**
感電・ショート・発火の原因になります。
禁止

● **水をかけない**
電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。
水ぬれ禁止

● **アースを確実に取り付ける**
アースが不完全な場合、故障や漏電のときに感電することがあります。
(詳しくは☞7ページ)
アース線接続

● **冷蔵庫を廃棄処分するときは ドアパッキングをはずすまた 幼児が遊ぶ場所に放置しない**
幼児が閉じ込められると危険です。
パッキングをはずす

● **ガス漏れに気づいたら 冷蔵庫やコンセントに触れずに ガスの元栓を閉めて換気する**
引火爆発し、火災ややけどの原因になります。
換気をする

● **分解・修理・改造は絶対にしない**
感電・火災・けがなどの原因になります。分解・修理が必要なときは、販売店にご相談ください。
分解禁止

● **可燃性スプレーを近くで使わない**
引火する危険があります。
禁止

● **ドアにぶらさがったり 引き出しドアに乗ったり よりかかったりしない**
冷蔵庫が倒れたり、ドアがはずれたり、手をはさんだりしてけがをすることがあります。
禁止

● **医薬品や学術資料は入れない**
家庭用冷蔵庫では、温度管理の厳しいものは保存できません。
禁止

● **湿気の多いところや 水がかかるところに据え付けない**
絶縁劣化による感電・漏電・発火の原因になります。
水ぬれ禁止

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

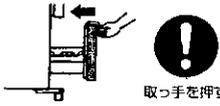
● **ボトルポケットに不安定で倒れやすいビン類や缶類を立てて入れない**
落下してけがの原因になります。

● **冷蔵庫の底面に手を入れない**
冷蔵庫の底面には鉄板があり、けがの原因になります。

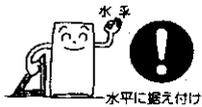
● **ボトルポケットにボトル類を無理に入れない**
ドアの開閉でポケットがはずれ、けがの原因になります

● **冷凍室にビン類を入れない**
中身が凍って割れ、けがの原因になります。

● **冷凍室内の食品や容器（特に金属製）には ぬれた手で触れない**
凍傷の原因になります。

● **引き出しドアは取っ手を押して閉める**
ドアの上面や下面を持って閉めると、指をはさむなど、けがの原因になります。

● **異臭がしたり変色した食品は食べない**
腐敗により、病気の原因になることがあります。

● **食品を棚より前に出さない**
食品を棚より前に出すと、ドアが閉まらなくなったり、ドアポケットに入れたビンなどを割り、けがの原因になります。

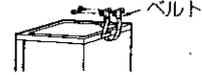
● **床が丈夫で水平なところに据え付ける**
不安定な所に据え付けますと、ドアの開閉などで冷蔵庫が倒れけがの原因になります。
（詳しくは ☞ 6ページ）

● **冷蔵庫を運搬するときはテーブル後部と下部調節脚を持つ**
ほかの部分を持つと、手がすべって、けがの原因になります。

● **冷蔵庫背面の機械部に手を入れたり圧縮機に触れない**
高温ですので、やけどやけがの原因になります。特に幼児が手を触れないように、据付け時注意してください。

● **据え付け時や お手入れをした後に 蒸発皿が正しく取り付けられているかを確認する**
正しく取り付けられていないと、除霜水が漏れ、床や壁などを傷める原因になります。

据え付けるとき

万一の地震にそなえて

● テーブル背面の中央に冷蔵庫用転倒防止ベルトを掛け、先端を丈夫な壁や柱に固定してください。

別売品
部品番号：R-826CV-300
標準価格：870円（税別）×1個使用
（平成13年9月現在）

⚠警告

● **地震などによる冷蔵庫の転倒防止の処置をする**
振動により冷蔵庫が転倒し、けがの原因になります。

上部 10cm以上
後部 冷蔵庫背面下部ストッパーから壁まで 7.5cm以上
2cm以上（左右とも）

周囲にすき間をあけて

● 図のようにすき間をあけてください。すき間をあけませんと、放熱が悪くなり、電気代が増えたり、壁材が変色したり汚れたりします。
● 蒸発皿が壁に触れますと、振動音が発生することがありますので、壁から離してください。

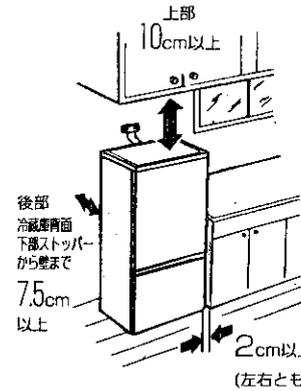
⚠警告

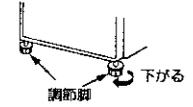
● **電源プラグを冷蔵庫の背面で押し付けない**
電源プラグが傷付き、過熱・火災の原因になります。

熱気・湿気の少ないところに

● 直射日光やガスレンジなどの熱の影響を受けると、冷却力が弱まり、電気代のムダになります。

⚠警告

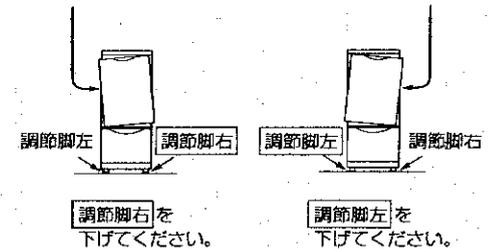
● **湿気の多いところや水がかかるところに据え付けない**
絶縁劣化による感電・漏電・発火の原因になります。

床が丈夫で水平なところに

● 調節脚を矢印の方向に回して床に着け、安定させます。
不安定な据え付けは、転倒や騒音・振動の原因になります。
● じゅうたん・畳などの場合は、下側全面にしっかりした板を敷いてください。
冷蔵庫の底の熱による床の変色も防げます。

⚠注意

● **床が丈夫で水平なところに据え付ける**
不安定なところに据え付けますと、ドアの開閉などで冷蔵庫が倒れ、けがの原因になります。

扉の平行調整は

● 左側が下がっている場合　● 右側が下がっている場合

調節脚右を下げてください。　調節脚左を下げてください。

※調節脚を回す量は扉段差1mmにつき1回転を目安に調節してください。冷蔵庫本体が床になじみ、扉段差が直るまでにある程度日数（1～5日）がかかる場合があります。

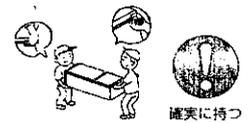
移動するときは

● 必ず電源プラグを抜いてください。
● 食品を取り出し、蒸発皿の水を捨ててください。
● 運搬するときは、前脚部とテーブル後部を持ってください。

転居などで運搬するとき

● 横積みしないでください。
圧縮機の故障の原因になります。
● 50-60Hz（ヘルツ）共用です。

⚠注意

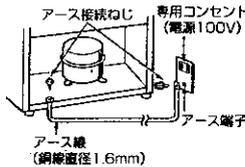
● **冷蔵庫を運搬するときは、テーブル後部と下部調節脚を持つ**
ほかの部分を持つと、手がすべって、けがの原因になります。

据え付けるとき（つづき）

アース線の接続について

- 感電防止のため、土間・洗い場の床・地下室など湿気や水気のある場所に据え付ける場合は、必ずアースをしてください。
- **コンセントにアース端子がある場合**
  アース線（付属していません）を使い、背面下部のアース接続ねじに接続してください。
- **コンセントにアース端子がない場合**
  お買い上げの販売店または電気工事店に依頼し、アース工事（D種接地工事：有料）をしてください。

アース接続ねじ　専用コンセント（電源100V）　アース端子　アース線（銅線直径1.6mm）

次のようなところに接続しないでください。

- 水道管
- ガス管（爆発・引火の危険）
- 電話線のアースや避雷針（落雷のとき危険）

⚠警告

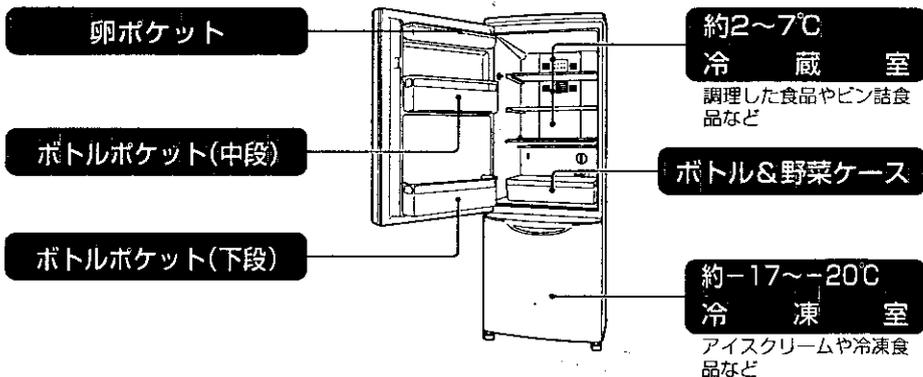
- **アースを確実に取り付ける**
  アースが不完全な場合、故障や漏電のときに感電することがあります。

別売品：アース線（2.5m）
部品番号：NW-60R6-52
標準価格：300円（税別）
（平成13年9月現在）

漏電しゃ断器について

水気の多いところ（厨房・土間など常時床面に水気のあるところ）に据え付ける場合は、アースのほかに漏電しゃ断器を設置することが義務づけられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

使いはじめ

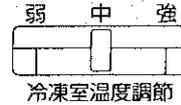
食品の貯蔵場所

- 温度は、周囲温度30℃、各室温度調節ダイヤルを「中」にして、食品を入れずにドアを閉め、安定したときの値です。

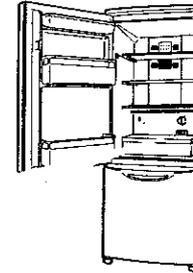
※製品は改良のためイラストと相違することがあります。

温度調節

■外気温度等の変化により、温度調節が必要となった時には、下表を目安にセットしてお使いください。

●ふだんは"中"の位置でお使いください。

冷凍室温度調節

強	"中"より約1℃低くなります。冬期、冷凍室の冷えが弱いとき
中	約−17～−20℃
弱	"中"より約1℃高くなります。

●ふだんは"中"の位置でお使いください。

冷蔵室温度調節

強	"中"より約3℃低くなります。冬期、冷凍室の冷えが弱いとき
中	約2～7℃
弱	"中"より約3℃高くなります。

- ●"強"に合わせても冷えが弱いときは、冷蔵室温度調節ダイヤルを"強"側へ回してください。
- ●冬期など周囲温度が低く冷えが弱いときは、冷蔵室ダイヤルを"強"側へ回してください。

※表の温度は周囲温度30℃、冷蔵室温度調節を"中"にして、食品を入れずにドアを閉め、安定したときの値です。

- ●"弱"のままで長時間お使いになりますと、冷凍室の食品の凍結がゆるむことがあります。

※表の温度は周囲温度30℃、冷凍室温度調節を"中"にして、食品を入れずにドアを閉め、安定したときの値です。

冷蔵室の食品凍結についてのご注意

食品が凍結するときは、冷蔵室温度調節ダイヤルを"弱"側に調節してください。
また次のようなとき、食品が凍結することがあります。

- 冷蔵室温度調節ダイヤルを"強"側のままにしておいたとき。
  ダイヤルを"中"に戻してください。
- 水気の多い食品（豆腐・野菜など）を透明トレイの奥に置いたとき。
- 冬など、周囲温度が5℃以下になったとき。
  冷蔵室温度調節ダイヤルを"弱"側にすると、いくぶん凍りにくくなります。

■自動霜取りについて

（霜取り操作は不要です）

- ●冷却器に付いた霜は自動的に溶けます。溶けた水は蒸発皿にたまり、自動的に蒸発します。
- ●JIS（日本工業規格）では霜取り中および霜取り終了後の冷凍負荷温度（食品温度）の上昇が、5℃以下と規定されています。

●冷蔵庫は、「食品の鮮度をよくするもの」ではなく、あくまでも「食品が傷むことにある程度ブレーキをかけるもの」です。取扱説明書に従って正しく使用し、適切な食品管理を心がけてください。
●庫内の温度はドアの開閉、周囲温度、食品の量、入れぐあいなどにより変化します。

冷蔵室・冷凍室

冷 蔵 室

テーブル
（耐熱温度100℃ 荷重25kgまで）

お願い
- テーブル表面が100℃を越えるような熱器具（オーブントースターなど）は載せないでください。テーブル表面が溶けたり、割れたりします。

庫内灯

卵ポケット
市販のパックのまま入れることができます。

透明トレイ

ボトルポケット（中段）
500ミリリットル缶など

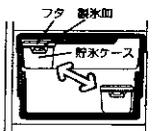
ボトル＆野菜ケース
500ミリリットルのボトル・野菜など

ボトルポケット（下段）
2リットルのペットボトルなどボトル類

⚠注意
- **ボトルポケットにボトル類を無理に入れない**
ドアの開閉でポケットがはずれ、けがの原因になります。

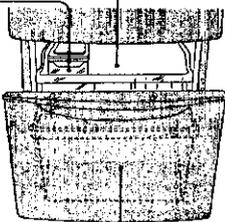
冷 凍 室

フタ付き製氷皿と貯氷ケース

どこでもアイスセット
どこでもアイスセットは、上段ケース・下段ケースのどこにでも置くことができます。

- どこでもアイスセットは、上段の左側の位置に置いたときに、比較的早く製氷できます。（4〜5時間）

製氷皿の使いかた
1 製氷皿に水を水位線まで入れる。
- フタをすると製氷皿をセットするとき水がこぼれにくく、またにおい移りも防げます。

2 製氷皿を貯氷ケースの上に置きケースを押し込む。

上段ケース
- 上段ケースに4.2kg以上のものを入れないでください。ケースが変形したり、割れたりすることがあります。
- ご使用後は奥までしっかり押し込んでください。冷凍室ドアが半開きになるおそれがあります。

下段ケース
大きな食品や、長期間貯蔵する食品を入れます。
- 下段ケースに6.8kg以上のものを入れないでください。ケースが変形したり、割れたりすることがあります。
- 冷凍室ドアをしっかり閉めてお使いください。食品の詰めすぎなどにより、ドアが半開きになっていると、冷えなくなります。

お願い
- 製氷中のどこでもアイスセットの移動やケースの引き出しは静かに行ってください。製氷皿の水がこぼれたり、表面に凹凸などのある氷ができることがあります。
- 製氷皿は図のような方向に折り曲げないでください。割れることがあります。
- 貯氷ケースで製氷しないでください。割れることがあります。
- 氷が貯氷ケースの切り欠き位置より、上に出ないように氷をならしてください。
切り欠き位置よりも上にありますと、製氷皿がうまく置けなかったり、ケースを押し込んだ際に製氷皿が天井面に当たり、水がこぼれることがあります。

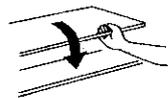
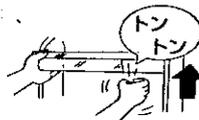
切り欠き

⚠注意
- **冷凍室内の食品や容器（特に金属製）にぬれた手でふれない**
凍傷の原因になります。
- **冷凍室にビン類を入れない**
中身が凍って割れ、けがの原因になります。

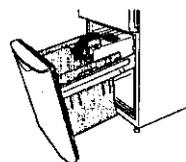
部品のはずしかた

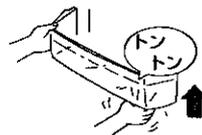
■取り付けかたは、はずしかたの逆の順序で行います。
■ドアを９０度開くだけで、部品の取りはずし、取り付けができます。

透明トレイ
手前に引き下げる。

取り付けるときは、奥面に当たるまで押し込んでください。

卵ポケット
ポケットの取り付けは固くしてありますので、左右の底面を軽く突き上げながらゆっくり押し上げてください。

上段ケース・下段ケース
1 ドアを引き出します。
2 上段ケースを図のように手前から持ち上げます。

3 ドアを少し持ち上げ、さらに引き出し、床に着けます。

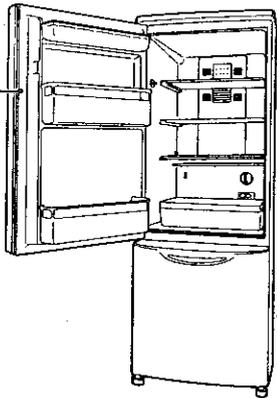
4 下段ケースを図のように持ち上げます。

ボトルポケット
ポケットは、左右の底面を軽く突き上げながらゆっくり押し上げてください。

トン
トン

使いかた お手入れ

お手入れのしかた

■月に1回はお手入れを。

お手入れのポイント

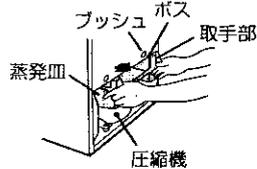
ドアパッキング
汚れやすいところです。
下側もよくふきます。

部品
取りはずしできる部品は、水洗いしてもさしつかえありません。

蒸発皿
- はずして水洗いします。
蒸発皿は図のように引き出します。

お願い

蒸発皿の取り付け方について
取り付けるときは、圧縮機上部のブッシュに蒸発皿取手部のボスを差し込み、蒸発皿の取手部が冷蔵庫本体に当たるまで押し込んでください。

⚠注意

- **冷蔵庫背面の機械部に手を入れたり 圧縮機に触れない**
高温ですので、やけどやけがの原因になります。
- **お手入れのあとは 蒸発皿を正しく取り付ける**
正しく取り付けられていないと、除霜水が漏れ、床や壁などを傷める原因になります。

お手入れの方法

1. 電源プラグを必ず抜きます。
2. 布にぬるま湯か中性洗剤を含ませてふきます。中性洗剤でふいた後は、水ぶきします。
3. お手入れ後、電源コードにきれつやすり傷がないことを確認します。
4. 蒸発皿が正しく取り付けられていることを確認します。
5. 電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。

お願い
- 食品などの汁が扉表面に付いた場合は、すぐふき取ってください。そのまま放置しますと、変色することがあります。
- 食用油やかんきつ類の皮に含まれている汁が付いた場合は、ふき取ってください。プラスチックが割れることがあります。

- **化学ぞうきんをご使用の際は、化学ぞうきんの注意書に従ってください。**
- **次のものは使用しないでください。塗装面や部品を傷めます。**
シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉せっけん・みがき粉・アルカリ性洗剤・弱アルカリ性洗剤・ワックス・熱湯・酸・たわしなど。
特に、アルカリ性洗剤・弱アルカリ性洗剤を使用しますと、プラスチックの表面を黄変させたり、プラスチックが割れることがあります。

⚠警告

- **お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く また ぬれた手で抜き差ししない**
感電することがあります。
- **電源プラグの刃及び刃の取り付け面に ほこりが付着している場合は よくふき取る**
ほこりで電気がショートしやすくなり、火災の原因になります。
- **電源コードや電源プラグが傷んでいたり コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**
感電・ショート・発火の原因になります。
- **水をかけない**
電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

⚠注意

- **冷蔵庫の底面に手を入れない**
冷蔵庫の底面には鉄板があり、けがの原因になります。

- もしご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

故障かな？と思ったら

次のことをお調べください

全く冷えないとき
- 電源プラグが抜けていませんか？
- ヒューズやブレーカーが切れていませんか？
- 停電ではありませんか？

冷蔵室で食品が凍結するとき
- 温度調節が適正になっていますか？
- 周囲の温度が5℃以下になっていませんか？
- 水分の多い食品を、棚の奥に入れていませんか？

床面や庫内に水がたまるとき
- 蒸発皿が正しく取り付けられていますか？
- ドアが食品に当たって半開きになっていませんか？

よく冷えないとき
- 温度調節が適正になっていますか？
- 直射日光が当たったり、近くにガスレンジなどがありませんか？
- 熱いものを入れたり、ドアをひんぱんに開けていませんか？
- 食品を詰めすぎていませんか？
- 周囲の風通しはよいですか？
- ドアが食品に当たって半開きになっていませんか？

庫内のにおいが気になるとき
- においの強い食品を、ラップ[illegible]をしないで入れていませんか？

音がうるさいとき
- 床がしっかりしていますか？
- 据え付けが悪く、がたついていませんか？
- 蒸発皿が壁などに当たっていませんか？
- 蒸発皿がはずれていませんか？

これは故障ではありません

水の流れるような音などがする
これは冷凍機の中の冷媒から発生する音で、停止中も出ることがあります。ときどき、きしみ音のすることがありますが、これは冷却器の周辺材料が収縮・膨張をするために発生する音です。

ドアを閉めた直後、すぐにドアを開けようとすると、ドアが重く感じる
庫内に入った空気が急に冷やされて、庫内の圧力が一時的に庫外より低くなるためです。

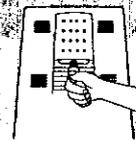
外側やテーブルに露が付く
周囲の湿度が高いとき、外側に露の付くことがあります。また、テーブルの上にジャーやレンジなどを置くとテーブルに露がつくことがあります。これはコップに冷たい水を注いだときにまわりに水滴がつくのと同じです。乾いた布でふき取ってください。

冷蔵庫の前面や側面、背面が熱く感じる
[illegible]

■ 以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときは、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

こんなときには…

庫内灯を交換するときは
- 交換する前に、必ず電源プラグを抜いてください。
- 庫内灯は形名をご指定のうえ、販売店にご相談ください。

⚠警告

- **庫内灯を交換するときは 交換する前に電源プラグをコンセントから抜く**
感電することがあります。

停電したときは
- ドアの開閉を、できるだけ少なくしてください。
- 新しい食品の貯蔵は、庫内の温度を高くするので、避けてください。

長期間使わないとき
- カビが生えたり、においがこもったりしないよう、庫内を掃除し、2～3日間ドアを開けて乾燥させてください。

塗装面に傷がついたときは
放っておくと、さびが発生しますので、早めに処置してください。
（簡単な処置方法）
- **小さな傷は、シールをはる。**
- **大きな傷は、防水性のある壁紙をはる。**
（さびは紙やすりで落としてから）

仕様/消費電力量について/冷凍室の性能

仕様

形名		R-15NWT・R-15RNWT
種類		冷凍冷蔵庫
定格内容積		145L
	冷蔵室	101L
	冷凍室	44L　<27L>
外形寸法		幅460mm×奥行585mm(ハンドル含まず)×高さ1285mm
コード長さ		2m
定格電圧		100V
定格周波数		50/60Hz共用
電動機の定格消費電力	50Hz	89W
	60Hz	92W
電熱装置の定格消費電力	50Hz	98W(霜取り時)
	60Hz	98W(霜取り時)
消費電力量		冷蔵室ドア内側の品質表示ラベルに表示してあります。
質量		40kg

部品	数
冷蔵室棚	3
卵ケース	1
ボトル&野菜ケース	1
どこでもアイスセット	1
(うち:製氷皿(フタ付)	1
貯氷ケース)	1
蒸発皿	1

- 「定格内容積」は、日本工業規格(JIS C9801)に基づき、庫内部品のうち冷やす機能に影響がなく、工具無しにはずせる棚やケース等を、はずした状態で算出したものです。「定格内容積」には、「食品収納スペース」と「冷気循環スペース」を含みます。
- < >内は、「食品収納スペースの目安」です。引き出し式貯蔵室(冷凍室)の場合、「定格内容積」と併せ「食品収納スペースの目安」を表示しています。
- 霜取りは1日1～2回程度、1回の霜取り時間は20～30分程度です。

冷蔵庫の消費電力量について

■ 冷蔵庫の消費電力量(年間消費電力量)は、'99のJIS C9801の改正によりISO(国際標準化機構)規格に準じた試験方法により測定し表示しています。

■ 消費電力量の試験条件

	周囲温度と湿度	温度調節装置による庫内の設定温度	扉開閉回数	消費電力量の表示
JIS C9801	25℃ 70±5%	冷蔵室　5℃以下 冷凍室　−18℃以下	冷蔵室　25回/日 冷凍室　8回/日	年間消費電力量(kWh/年) W_{25}×365日/年
	●W_{25}:周囲温度25℃における1日当たりの消費電力量。 ●なお消費電力量は、冷蔵庫の据付場所、周囲の温度や湿度、扉の開閉数、食品の貯蔵量などにより変化します。			

冷凍室の性能

この冷蔵庫の冷凍室の性能は✻✻✻✻(フォースター)です。
冷凍室の性能は、日本工業規格(JIS C9607)に定められた方法で試験したときの冷凍負荷温度(食品温度)によって表示しています。

記号	✻✻✻✻ フォースター
冷凍負荷温度(食品温度)	−18℃以下
市販冷凍食品の貯蔵期間の目安	約3カ月

■ JISの試験方法は次の通りです。
① 冷蔵室の温度が0℃以下とならない範囲で、最も低い温度になるよう温度調節ダイヤルを調節して、試験を行います。
② 冷蔵庫の据え付け場所の温度は15～30℃の範囲を基準としています。
③ 冷凍室定格内容積100L当たり4.5kg以上の食品を24時間以内で−18℃以下に凍結できる性能の冷凍室を、フォースター室としています。

■ 市販冷凍食品の貯蔵期間
冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類・店頭での貯蔵状態・冷蔵庫の使用条件などによって異なりますので、一応の目安としてご覧ください。

(必ずお読みください)

保証とアフターサービス

保証について

■ この商品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
なお、食品の補償等、製品修理以外の責はご容赦ください。

■ 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
ただし、冷凍サイクル・冷却器用ファンおよびファンモーターは、5年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■ 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご希望により有料修理いたします。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を供給します。

補修用性能部品の保有期間について

■ 冷蔵庫の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後9年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスでお困りの場合は

お買い上げの販売店か、下記ご相談窓口にお問い合わせください。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。
ご転居先での、日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

庫内の食品温度のはかり方

冷蔵庫は、JISに基づいて厳重な品質管理のもとで生産していますが、庫内の温度は冷蔵庫の据え付け状態や外気温、使用条件などにより変化します。
しかし、庫内の食品は、8割前後が水分であるために比熱が大きく、その温度は空気のように大きく変化はしません。
従って、一般の空気温度をはかる温度計では変化の少ない食品温度の測定ができません。
そこで、空気温度の影響を受けにくく、食品に近い温度を示す<冷蔵庫用温度計>を発売しています。ご購入の際は、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、一般のアルコール温度計で庫内の食品相当温度をはかる場合は、冷蔵庫中段の棚の中央に約100mLの水を入れた容器を置き、感温部を3時間ほど浸しておくと、食品に近い温度が得られます。

- 冷蔵庫用温度計の測定値は、扉開閉頻度、外気温、設置場所、庫内の冷気対流、冷凍機の運転・停止などの影響を受けて変化しますので、冷蔵庫用温度計の取扱説明書をよく読んでお使いください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は	商品情報やお取り扱いについてのご相談は
0120−3121−68	0120−3121−11

*フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

(一般ご相談窓口) 家電品についてのご意見やご要望は各地区の**お客様相談センター**へ

担当地域	電話番号	所在地
北海道地区	011-833-5088	札幌市白石区東札幌2条4−1−10
東北地区	022-232-5088	仙台市宮城野区扇町1−1−45
関東・甲信越地区	03-3834-8588	台東区東上野2−7−5(日立家電上野ビル)
中部地区	052-795-5088	名古屋市守山区川宮町55(日立家電守山ビル)
関西地区	078-431-5088	神戸市東灘区甲南町1−3−8
中国地区	082-231-5088	広島市西区観音新町1−7−17
四国地区	0877-47-1088	坂出市林田町4285−143
九州・沖縄地区	092-281-5088	福岡市博多区店屋町7−18(博多渡辺ビル)

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。　−F.12−

点検・サービス